

## 【鶴居村立鶴居中学校 学校だより】

# ととしえ



令和元年8月30日(金)臨時号 発行責任者 岩崎 等

# 自分には、よいところがある

## 平成31年度実施 全国学力・学習状況調査結果から

2学期がスタートしました。今年度も昨年度同様に7月下旬に全国学力・学習状況調査の結果が届きました。夏季休業中に鶴中の全体的な傾向について分析しましたので、お知らせします。併せて、3年生には個人票を返却します。

全国学力・学習状況調査の結果は、国語・数学は平均正答率において全国平均を上回る結果となりましたが、英語につきましては、全道・全国平均を下回る結果となりました。設問ごとの特徴的な結果や生徒質問紙における結果につきましては、以下の通りとなっておりますので、ご参考になさってください。

3年生は、このあと28日(水)の学力テストを経て、9月には学力テスト総合Aが始まります。先日の学活では、今後の進路選択に向けての学習を行いました。学校祭の準備もありますが、希望の進路実現に向けて、弱点を克服する一つの資料として活用してください。また、1、2年生は、3年生の取組方法や姿勢を参考に、学習に取り組んでください。

## 規則正しい生活と宿題・家庭学習の成果

### 学習状況調査(生徒質問紙)の結果で全道・全国の平均値を大きく上回っている項目

- ・自分によりよいところがある。先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。学校の規則を守っている。いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。毎日同じくらいに起きている。(100%)
- ・毎日、同じくらいの時間に寝ている。先生は、あなたのよいところを認めてくれている。(95%)
- ・家の人と学校での出来事について話をする。将来の夢や目標を持っている。ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。学校に行くのは楽しい。人が困っているときは進んで助けている。(90%)

### 学習状況調査の結果で全道・全国の平均値を若干下回っている項目

- 朝食を毎日食べていますか。(80%)

\*決して低いわけではありません!

◇ほとんどの質問事項は全道・全国平均を上回っています。

◇地域や社会で起こっている問題や出来事に関心を持ち、それらをよくするために何をすべきか考える生徒も多いです。また、新聞を読んでいる生徒も全国平均に比べて高くなっています。

## 各教科の結果より

### ◇国語、数学、英語の学力状況調査の結果で、全国平均を大きく上回っている項目

#### <国語>

- 封筒の書き方を理解して書く。
- 話合いの話題や方向を捉える。
- 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く。

#### <数学>

- 数の集合と四則計算の可能性について理解している。
- 反例の意味を理解している。
- グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる。

#### <英語>

- 【話すこと】月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる。
- 【話すこと】基本的な文法(現在進行形)を理解して、応答することができる。
- 日常的話題について、情報を正確に聞き取ることができる。

### ◇学力状況調査の結果で、全国平均を比較的、大きく下回っている項目

<国語> ■文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ (-6.2%)

<数学> ■平行移動の意味を理解している (-13.6%)

<英語> ■与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる。 (-33.5%)

国語や数学において、「授業の内容はよく分かる」と答えている生徒が圧倒的に多く、意欲的に学習に取り組んでいることがうかがわれます。英語においては、「授業の内容はよく分かる」と答えている生徒が全国と比較して若干低い結果が出ています。

全国平均を上回る(国語・数学)成果を出しています。また、全国平均に比べて「調査問題の解答時間がやや足りなかった」と答えている割合が多く、粘り強く問題を解こうとしている姿勢が表れています。

全般的に、「話し合い活動を通して、自分の考えを広めたり、広げたりすることができている」と答えた生徒も多く、主体的、対話的な授業を目指して取り組んでいた成果が表れてきています。

国語科においては、「文章を読み、手がかりにした言葉を明確にしながら内容を解釈し、自分が感じたことや考えたことを具体的に書ける力」や「説得力のある文章」を書くため、自分の考えを支える「根拠」として適切に「事例」を示す力を更に伸ばしていきます。「基礎漢字テスト」や朝読書の成果が表れてきています。授業においては、文章の内容を的確に捉え、相手にわかりやすく伝える力の育成を図ります。

数学科においては、「基礎計算テスト」や授業で基礎・基本の定着を更に進めます。今後の授業においては、文章問題や自分の考えを説明したり、証明したりする力をつけるため、多くの問題に取り組ませ、改善を図っていきます。正答率が低かった1次関数を含め1学年で学習した単元につきましては補充学習を実施していきます。

英語科においては、言語を正確に運用することへの意識が高められるよう、発展的な内容においてもきめ細かく指導していきます。また、「やりとり」のなかで自分で考えた内容を表現する機会を増やしていきます。更に長めの英語を聞くリスニングや、それを踏まえて正確な英語で答えるような機会を増やしていきます。

※国語・数学・英語の授業はもちろんのこと、全教科において授業の目標をはっきりと明示し、根拠を説明したり、自分の考えを書いたりする活動の充実を図っていきます。また、反復学習を通して基礎・基本の定着を図っていきます。

※2学期は、校内研修(授業研究)を通して、更に「主体的・対話的な学び」の充実を図っていきます。